

## 4 アクションプランの事業内容

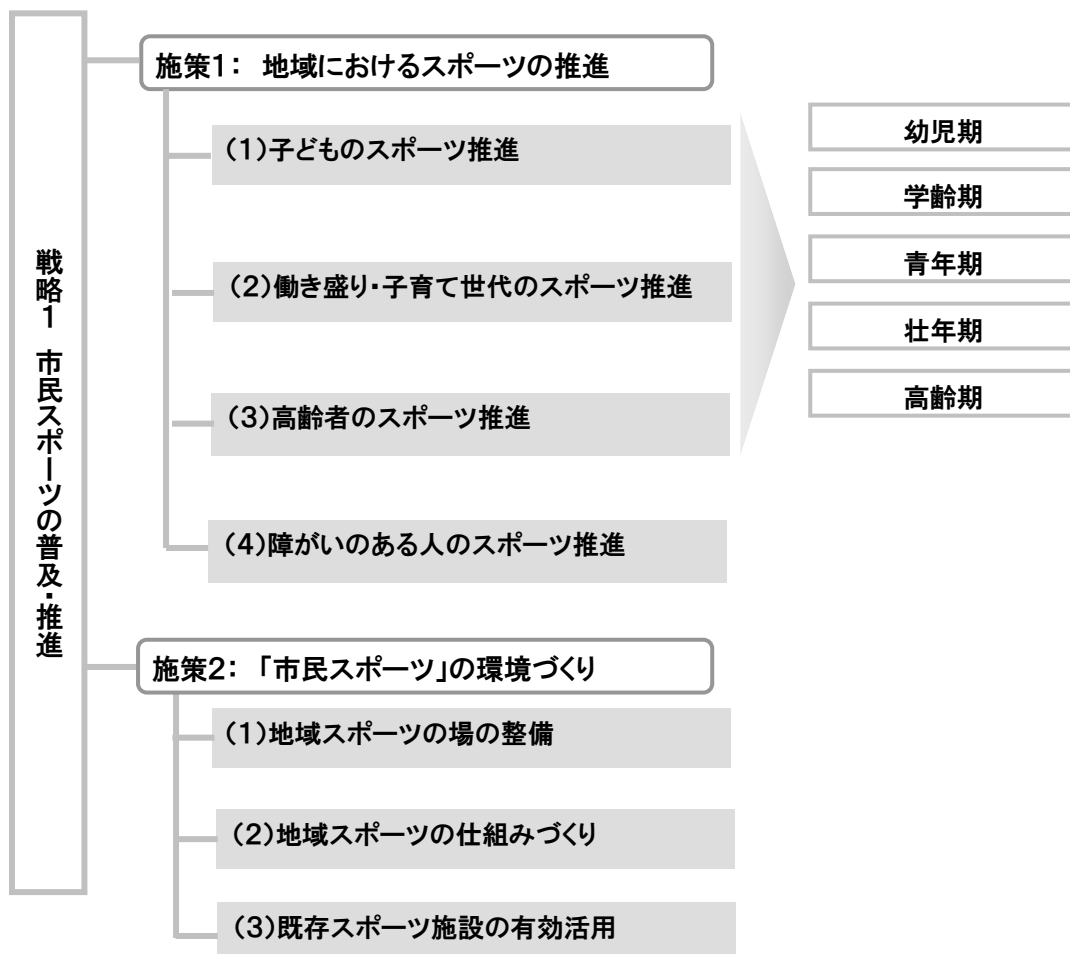
### 戦略1 市民スポーツの普及・推進【49事業】

少子高齢化など社会・経済情勢が大きく変化する中、学校や企業を中心としたこれまでのスポーツは岐路に立っており、新たなスポーツ推進のあり方が求められているところです。町田市では、新たなスポーツ推進のあり方とは、地域における学校、企業、家庭、スポーツ団体等関係者が連携し、スポーツ活動を地域全体に広げ、継続的な実施を定着させることと考えています。

今後は、市民一人ひとりが主体となって、スポーツ文化を地域の中で育み、だれもが気軽に、それぞれの立場に合わせてスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

「戦略1 市民スポーツの普及・推進」では、施策1として市民がスポーツや運動を行う機会を持ちスポーツ人口を拡大していくために、ライフステージ別に地域におけるスポーツを推進し、特に、スポーツ実施率が低いとされる働き盛り・子育て世代、高齢者、そして障がいのある人などを対象に、きめ細かくアプローチをしていきます。

また、施策2として市民スポーツの普及・推進に必要な地域スポーツの場の整備を進めます。具体的な事業としては、地域スポーツクラブの設立支援、地域学校開放推進事業やニュースポーツの推進等に取り組みます。



## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-1				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 平成24年に文部科学省が策定した「幼児期運動指針」では、「体を動かすことが幼稚園や保育所などでの一過性のものとならないように、家庭や地域にも情報を発信し、共に育てる姿勢をもてるようにすること。」とされている。本事業では、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施することにより、家庭での運動量の増加を目指す。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 子育て支援課		取り組みの場	地域子育て相談センター 市立保育園 等
	連携先			対象者	乳幼児の保護者 市立保育園の保育士
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	啓発活動の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-2				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;          幼児が安全に楽しく運動に親しむことができる教室を開催し、幼児期の積極的な身体活動を促す。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;          幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館：ちびっ子体操教室（4歳児対象）、わんぱく体操教室（5～6歳児対象）</li> <li>・サン町田旭体育館：ちびっ子体操教室（4歳児対象）、わんぱく体操教室（5～6歳児対象）</li> <li>・室内プール：幼児スクール※自主事業</li> <li>・成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス（4～6歳児対象）※自主事業 等</li> </ul>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	未就学児	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	4,670名	
	教室参加者数		目標水準 (2018年度)	5,170名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-3				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <p>A：スポーツに親しむ機会を提供することにより、乳幼児へは身体を動かす楽しさを体験してもらおうとともに、保護者へは身体づくりの大切さを普及していく。</p> <p>B：保育士の身体づくり・体育遊びの力量をあげることにより、乳幼児及び保護者に対する乳幼児期の身体づくりの推進につなげる。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>A：乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。</p> <p>B：市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。</p>				
	実施主体	子育て支援課	取り組みの場	地域子育て相談センター 市立保育園	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	乳幼児及び保護者 市立保育園の保育士	
	事業目標	<p>指標</p> <p>A：交流会などの回数 B：研修回数</p>		<p>現状 (2013年度)</p> <p>—</p>	<p>目標水準 (2018年度)</p> <p>A：年10回 B：年10回</p>
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画作成	A：年5回 B：年5回	A：年5回 B：年5回	A：年10回 B：年10回	A：年10回 B：年10回

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-4				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児・親子向けプログラム（フィットネス、レクリエーション）				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;          幼児が身近な場所で様々な身体活動を体験し、遊びをとおして身体を動かす楽しさを知ること、スポーツに親しむ機会を確保する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;          当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。          市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム（フィットネス、レクリエーション）を定期的実施する。</p>				
	実施主体	児童青少年課	取り組みの場	子どもセンター	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	幼児とその保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	実施	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-5				
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進				
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 小・中学生が身近な場所でスポーツを体験することができる機会を確保するとともに、高校生や地域スポーツクラブが実際の指導を行うことで、スポーツを通じて世代間の交流を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。</li> <li>・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。</li> </ul>				
	実施主体	児童青少年課		取り組みの場	子どもセンター まちとも
	連携先	高校 地域スポーツクラブ		対象者	小・中学生
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画	実施			→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-6				
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 学校と地域が連携した教育活動を行うため、スポーツ指導員登録制度を活用して、クラブ活動・部活動や授業の充実を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。</p>				
	実施主体	指導課	取り組みの場	小・中学校	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	児童・生徒	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ指導員登録制度の活用		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	—	検討	実施		→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-7				
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	食育推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 子どもとその保護者に「食」の大切さについて啓発することにより、基礎的な運動能力や体力の向上を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		取り組みの場	ホール、会議室、調理実習室、農場
	連携先	保健企画課		対象者	子どもとその保護者
	事業目標	指標 教室・イベント等の実施数		現状 (2013年度)	—
			目標水準 (2018年度)	年3回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	年2回	→	年3回



## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (1) 子どものスポーツ推進

No	1-8				
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	町田市こどもマラソン大会				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;  町田市の子どもに、長距離走を通じて体を動かす楽しさを知ってもらい、健康維持や体力増進のきっかけをつくと同時に、競技スポーツを体験する機会を提供する。また、友だち同士や親子と一緒に練習したり、スポーツ振興・青少年の健全育成を目的とする団体や学校・企業、地域のみなさんが子どもたちを応援したりすることにより、交流の輪を広げ、絆を強める。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;  児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。</p>				
	実施主体	町田市こどもマラソン大会実行委員会	取り組みの場	陸上競技場	
	連携先	町田市体育協会 町田市陸上競技協会 スポーツ推進委員会 青少年委員の会 教育委員会 等	対象者	市内在住・在学及び町田のスポーツチームに所属する児童	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	1,570人	
	大会参加人数		目標水準 (2018年度)	2,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-9				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 健康づくり推進員は地域における自発的な健康づくりを推進するために、町内会・自治会などから推薦をいただき、市長が委嘱している。 その健康づくり推進員に対し、ウォーキング研修を実施することで、健康づくりと連携したスポーツを地域で普及する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。</p>				
	実施主体	保健企画課	取り組みの場	健康福祉会館 等	
	連携先	健康課	対象者	健康づくり推進員	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	スポーツに関連する研修の実施回数		目標水準 (2018年度)	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回			見直し 実施	

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-10				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;            近年、大人だけでなく子どもにも増えている生活習慣病を家族ぐるみで予防するために、運動と食事について学ぶ機会を提供する。            運動の実技と調理体験を通し、健康づくりの大切さを理解し、家庭で実践するためのきっかけづくりの場を提供する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;            講習会を実施する。</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	4歳から未就学児の子どもとその保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	講習会実施回数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-11				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 市民が、健康に関する知識や技術を得ることにより、よりよい健康を目指し、健康活動の動機付けを得ることが出来るように情報提供及び支援を行う。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 運動に関する講演会を実施する。</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	講演会実施回数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-12				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 運動や調理実習などの実践を通し、栄養・食生活の改善や運動習慣の定着化等を図り、健康的な生活習慣づくりにつなげる。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 講習会を実施する。</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年4回	
	講演会実施回数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年4回	年2回	見直し 実施		→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-13				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	講師派遣事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 自治会や老人クラブ等、地域の様々な団体においてスポーツに関する取り組みが行われている。本事業では講師を派遣することにより正しい知識の普及啓発を行うと同時に、新たなスポーツにチャレンジするきっかけをつくる。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。</p>				
	実施主体	町田市体育協会	取り組みの場	各施設	
	連携先	スポーツ振興課 地域の団体 等	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	講師派遣実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-14				
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	既存施設の利用時間の延長等				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 利用時間の延長や利用単位の変更を行い、幅広い世代が利用しやすい環境を整備する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。</li> <li>利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。)</li> </ul> <p>【自主事業として行っている取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室内プール：サマータイム実施(7月21日から8月31日まで8時30分開館)</li> <li>成瀬クリーンセンターテニスコート：利用時間延長(5月1日から8月31日までハードコート19時まで)、早朝営業(7月1日から9月30日まで7時開館)</li> </ul>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 水再生センター 教育委員会 小・中学校 指定管理者 委託業者	対象者	施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2施設	
	利用時間を変更した施設数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行		

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-15				
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	夜間照明施設整備事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 日中に仕事をしている働き盛りの市民に、夜間にスポーツを「する」機会を提供する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	小・中学校 屋外スポーツ施設	
	連携先	教育委員会 小・中学校 公園緑地課 営繕課	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	7箇所	
	夜間照明設置箇所数		目標水準 (2018年度)	12箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整	検討・調整 設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—



## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-16				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 親子が安全に楽しく運動に親しむことができる教室を開催し、運動を通じた親子のコミュニケーションの機会とする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <p>総合体育館：親子体操教室、親子ふれあい体操教室、よちよち親子体操教室、てくてく親子体操教室 サン町田旭体育館：親子体操教室 等</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	未就学児と保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2,221名	
	教室参加者数		目標水準 (2018年度)	2,450名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,250名	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-17				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ施設の親子利用促進				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 親子が安全に楽しく運動に親しむことができる施設を提供し、運動を通じた親子のコミュニケーションの機会とする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 親子が利用できる施設の提供と周知を行う。 【親子が利用できる施設】 総合体育館：卓球の開放時におけるファミリー用卓球台の設置 室内プール：幼児用プールを利用する際に、保護者が付き添って利用…※ 学校温水プール：児童が利用する際に、保護者が付き添って利用…※ ※安全のためのルールだが、保護者が子どもとともに運動し、また、子どもとの身体的コミュニケーションを高める機会の創出となっている。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	子どもと保護者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	事業実施
	スポーツ施設の親子利用促進		目標水準 (2018年度)	継続	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				
	施設PR方法 の検討				→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-18				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 親子、祖父母と孫など、多世代でスポーツに取り組むことで、家族間やスポーツをする者同士のコミュニケーションを活性化し、地域のコミュニティや絆の強化を目指す。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; ・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 （例：体験イベント⇒定期イベント） ・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント（ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで）を実施する。</p>				
	実施主体	地域スポーツクラブ		取り組みの場	地域スポーツクラブを中心とする各地域
	連携先	スポーツ振興課 町内会自治会連合会 スポーツ推進委員		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画・実施				→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-19				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 子どもからお年寄りまで楽しみながらスポーツに親しむことで、交流を深め、運動をはじめめるきっかけづくりを提供するとともに市民スポーツの裾野の拡大を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; ・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館 子どもセンター 等	
	連携先	高齢者福祉課 児童青少年課	対象者	市内在住、在学の児童とその親または祖父母	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年3回	
	事業の実施回数		目標水準 (2018年度)	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回	→		年6回	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-20				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;  「スポーツを持てた機会」の調査で「持てた」割合が低下する30歳代~50歳代の仕事・子育てをしている層に対し、それぞれのライフスタイルを崩さずに手軽にスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツ実施率の底上げを図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;  民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度（利用助成）を検討し、実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	民間スポーツクラブ
	連携先	スポーツ振興課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→		実施	→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-21				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	学校温水プールでの教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 働き盛りの人が、利用しやすい時間帯に低料金で参加できる教室を実施し、スポーツを行う機会を増やす。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	学校温水プール
	連携先	小・中学校教育委員会		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	働き盛りの人を対象とした教室の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-22				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 働き盛りの人が、利用しやすい時間帯に低料金で参加できる教室を実施し、スポーツ実施率の向上を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館：勤労者バドミントン教室</li> <li>・室内プール：水中エアロ（夜間）</li> <li>・成瀬クリーンセンターテニスコート：一般初級～中級クラス（夜間） 等</li> </ul>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2,226名	
	働き盛りの人を対象とした教室の実施		目標水準 (2018年度)	2,500名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名	2,500名

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-23				
推進施策	【重点施策】 高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	高齢者スポーツ普及事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;            高齢者が生きがいを持ち、介護予防的な側面から健康増進を図り、あわせて仲間をつくることで豊かな生活を営む一助とする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;            既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行う。</p>				
	実施主体	高齢者福祉課	取り組みの場	ゲートボール及びグラウンドゴルフが実施可能な一定の広さを持ち、かつ地域住民がその目的で利用することのできる市内の広場	
	連携先	町田市ゲートボール協会	対象者	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	6件	
	用具貸出件数		目標水準 (2018年度)	8件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	6件	→	7件	→	8件



## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-24				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;          少子高齢化が進む中、健康寿命を延ばし、高齢期の生活の質を向上するための取り組みが求められている。ロコモティブシンドロームとは、骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒・骨折しやすくなることで、自立した生活ができなくなり介護が必要となる危険性が高い状態を指す。ロコモティブシンドロームの認知度を上げ、対策を広めることにより、より元気に高齢期を過ごしてもらうことを目指す。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;          ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。</p>				
	実施主体	高齢者福祉課	取り組みの場	各施設	
	連携先	スポーツ振興課 市内団体	対象者	高齢者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	468人	
	講習会参加人数		目標水準 (2018年度)	500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	460人	470人	480人	490人	500人

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-25				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <p>【全般】市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>【高齢者スポーツ】超高齢社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>【障がい者スポーツ】スポーツ祭東京 2013 での国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	研修会場	
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員、市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-26	再掲			
推進施策	【重点施策】 高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 子どもからお年寄りまで楽しみながらスポーツに親しむことで、交流を深め、運動をはじめめるきっかけづくりを提供するとともに市民スポーツの裾野の拡大を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。</li> <li>・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。</li> </ul>				
	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館 こどもセンター 等	
	連携先	高齢者福祉課 児童青少年課	対象者	市内在住、在学の児童とその親または祖父母	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	年3回
事業の実施回数		目標水準 (2018年度)	年6回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回		→	年6回	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-27				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ大会				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の障がいのある方同士、障がい福祉団体同士が、スポーツを通して汗を流し、互いに交流・親睦を図る機会を提供することを目的とする。</li> <li>障がい者を『支える人』として、障がい福祉やスポーツに関係する方々からこれまであまり縁のなかった方々・機関まで様々な協力者と関わり合うことで、障がいのある方への理解、共生社会の理念の普及を図る。また、ボランティアの方等が活躍できる環境づくりに繋げる。</li> </ul> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。</p>				
	実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課	取り組みの場	総合体育館内	
	連携先	指定管理者 スポーツ推進委員 社会福祉協議会 等	対象者	市内在住の障がいのある方、市内障がい福祉施設の利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	事業の継続		目標水準 (2018年度)	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回				

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-28				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい児スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <p>障がいのある方がスポーツに親しむ機会を提供する。通常のスポーツクラブ等には、なかなか障がいのある方への知識を持った者がおらず、参加を考えたときに躊躇してしまう方が多いのが現状である。</p> <p>当教室では、障がいへの理解がある方を指導員とし、障がいのある方1人ひとりが楽しく参加でき、それぞれに合った方法で身体を動かし、力を伸ばすことができるような活動を目的とする。</p> <p>また、定期的に参加できる教室があるということで、障がいのある方の居場所づくり・社会参加の促進にもつなげる狙いがある。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。</p>				
	実施主体	障がい福祉課	取り組みの場	サン町田旭体育館 すみれ会館温水プール	
	連携先	指定管理者 すみれ教室 等	対象者	主に障がいのある18歳以下の方	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年30回以上	
	事業の継続		目標水準 (2018年度)	年30回以上	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年30回以上				

## 施策1： 地域におけるスポーツの推進

### (4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-29				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                  現在、障がい福祉課所管の障がい児スポーツ教室が開催され、多くの参加者がスポーツに親しんでいるが、レクリエーションとしての要素が強く、スポーツ技術の向上等を目的としたものではない。本事業では、障がいのある方々のスポーツに対するニーズを把握しながら、より専門性の高い教室を実施することを目的とする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                  障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	スポーツ振興課 公園緑地課 障がい福祉課	対象者	競技性のあるスポーツに取り組みたい障がいのある方	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	新たな教室の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-30			
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進			
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業			
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 障がい者スポーツを推進するためには、障がいのある方のためのスポーツ教室開催だけでなく、一般参加者と共にスポーツ教室や開放に参加しやすい仕組みづくりが必要である。本事業ではスポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置することにより、障がいのある方にとっても利用しやすい環境づくりを進める。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。</p>			
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設
	連携先	スポーツ振興課 公園緑地課 障がい福祉課	対象者	障がいのある方
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—
	スポーツ施設への障害者 スポーツ指導員の配置		目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討	→	実施	→

## 施策1：地域におけるスポーツの推進

### (4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-31	再掲			
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <p>【全般】市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>【高齢者スポーツ】超高齢社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>【障がい者スポーツ】スポーツ祭東京 2013 での国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	研修会場	
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員、市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→



## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-1				
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                  現在スポーツを「していない人」「したいのにできていない人」のニーズを掘り起こすため、より身近な地域でスポーツを始める、もしくははすることができる快適な環境を整備し、スポーツ実施率を高める。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                  既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	小・中学校
	連携先	学校開放運営委員会 PTA（保護者と教職員の会） 既存の学校開放利用団体 教育委員会 小・中学校 営繕課		対象者	各中学校区内に在住、在勤、在学している方々
事業目標	指標			現状 (2013年度)	2箇所
	クラブハウス機能が整備された数			目標水準 (2016年度)	10箇所
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-2				
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                      学校施設を地域のスポーツ活動拠点と位置づけるために、学校開放利用者がスポーツを快適に「する」環境を改善し、新たな利用を発掘することでスポーツ実施率の底上げを図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                      ・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。                      ・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	小・中学校
	連携先	学校開放運営委員会 P T A（保護者と教職員の会） 既存の学校開放利用団体 教育委員会 小・中学校 営繕課		対象者	学校開放利用団体
事業目標	指標		現状 (2013年度)	11,000人	
	学校施設開放利用登録者数		目標水準 (2018年度)	13,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-3				
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                      スケートボード、インラインスケート、BMX、ランニングバイク等のストリート系スポーツは、若者を中心とした多くの愛好家がいるが、気軽にストリート系スポーツを楽しめる場はほとんどない状況であり、市内にそうした場を設けることでストリート系スポーツを推進する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                      第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内	
	連携先	公園緑地課	対象者	ストリート系スポーツの愛好家	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スケートパーク整備のための検討		目標水準 (2018年度)	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-4				
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 公園・緑地等の芝生化は、子ども達のけがの減少や外遊びの機会の増加につながるるとともに、球技や体操などの利用方法の幅が広がり、市民の地域スポーツの場としての利用につながる。 公園・緑地等の芝生の整備により、市民が身近な場所でスポーツに親しめるようにする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。</p>				
	実施主体	公園緑地課	取り組みの場	市内公園・緑地等	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	市民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	—
	芝生の整備		目標水準 (2018年度)	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				→

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-5				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	高架下スペースのスポーツ利用				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                  既存のスポーツ施設は多くの市民に利用され、新たな施設のニーズも高くなっているが、新たな用地の確保は難しい状況である。本事業は、小山沼陸橋の高架下スペースの一部をスポーツ利用することについて検討し、市民がスポーツに触れる機会を創出することを目的とする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                  小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	高架下スペース	
	連携先	企画政策課 市民協働推進課 公園緑地課 高架下管理者	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ利用のための整備		目標水準 (2018年度)	1箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			→	1箇所

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-6				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	法政スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;            大学と連携することで、大学のスポーツ施設を活用する。大学のスポーツ指導資格者（教職員、学生等）によるスポーツ教室を開催することにより、市民に質の高いスポーツを「経験する」機会を提供する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;            ・大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。            ・ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるよう、大学と協力して方策を検討・実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	法政大学	対象者	在住・在勤・在学者及び大学近隣住民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	233人
	延べ参加者数		目標水準 (2018年度)	250人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	240人			→	250人

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-7				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 大学と連携することで、大学のスポーツ施設を、市民にスポーツを「する」場所として提供する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	東京家政学院大学	対象者	主に相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	47%
	年間利用率		目標水準 (2018年度)	70%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	50%	55%	60%	65%	70%

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (1) 地域スポーツの場の整備

No	2-8				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	大学連携推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 大学の既存スポーツ施設の有効利用を促進し、新たなスポーツ利用の場や機会を早期に創出する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	市内各大学	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2大学	
	市と連携協力している大学数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	協定締結 実施		→



## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-9				
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進				
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 身近な地域にある既存の学校施設を有効活用することで、国が掲げる「1中学校区あたりに1箇所の地域スポーツクラブ設立」を目指し、市民にとって「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境を整備する。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。</li> <li>クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。</li> </ul>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	小・中学校
	連携先	学校開放運営委員会 既存の学校開放利用団体 町内会自治会連合会 スポーツ推進委員		対象者	各中学校区に在住、在勤、在学している方々
事業目標	指標			現状 (2013年度)	4団体
	地域スポーツクラブ整備数			目標水準 (2018年度)	20団体
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-10				
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	まちだニュースポーツ推進事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;            近年、気軽に楽しむことができるニュースポーツが数多く開発され、市内でも様々な場面で実施されている。            本事業では、ニュースポーツについて研究し、市として種目を選定し推進することにより、市内でニュースポーツを広め、スポーツ実施率の上昇を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。</li> <li>・推進する種目の選定及び事業の実施を行う。</li> </ul>				
	実施主体	スポーツ推進委員		取り組みの場	スポーツ施設
	連携先	スポーツ振興課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・検討	→		実施	→

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-11				
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	キンボールスポーツ事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;            直径 122cm、重さ約 1kg のビッグなボールを使い、「共に遊べる」、「誰もが主役になれる」、「年齢、経験、体力等に応じてゲームを楽しめる」でお互いのチームワーク・協調性が身につけられる。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;            年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ 8 回、また教室のフォローアップとして 10 回、1 時間ずつ、水曜日に実施している。            また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、また P T A や子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約 10 校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。</p>				
	実施主体	ひなた村	取り組みの場	ひなた村・小学校	
	連携先	小学校 町田市青少年委員 の会	対象者	小・中学生、高校生及び大人	
事業目標	指標		現状 (2013 年度)	10 校	
	プログラムサービス事業実施校		目標水準 (2018 年度)	15 校	
実施計画	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	11 校	12 校	13 校	14 校	15 校

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-12				
推進施策	大学との協定の締結				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ行政に対する大学生の知見を広めることで、次代のスポーツ行政を担う人材を育成する。</li> <li>・市の主催イベント等に大学生を積極的に活用することで、町田市全体としての活気を創出する。</li> </ul> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。</li> <li>・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。</li> </ul>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内大学 市内外各種スポーツイベント 地域スポーツクラブ	
	連携先	市内大学 地域スポーツクラブ 広報課	対象者	大学生	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	市の事業と連携する大学数		目標水準 (2018年度)	3大学	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整	→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-13				
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	スポーツ指導員登録制度事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                      スポーツ指導員の登録制度により、一定レベルのスポーツ指導ができる地域住民を、指導員を必要としている団体等に対して紹介することで、市内スポーツの活性化を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                      スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。</p>				
	実施主体	町田市体育協会	取り組みの場	団体等の活動場所	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	スポーツ指導員	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	登録制度の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-14				再掲
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;</p> <p>【全般】市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>【高齢者スポーツ】超高齢社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>【障がい者スポーツ】スポーツ祭東京 2013 での国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	研修会場	
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員、市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-15				
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツを「支える」という概念をより広く周知し、スポーツと密接に関わる市民の数を増加させる。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内外各種スポーツイベント
	連携先	町内会自治会連合会 市内大学 市内高等学校 小・中学校 ホームタウンチーム 教育委員会 市民協働推進課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	1,200人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-16				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                  現在、維持管理に関する計画がないテニスコート等の屋外スポーツ施設について、計画的に整備・修繕することで、長期的に安心・安全に利用できるようにする。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                  ・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。                  ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	屋外スポーツ施設	
	連携先		対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	計画に基づく 施設整備・修繕の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	維持管理 計画策定	施設維持 ・修繕	→



## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-17				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt;                  現在、市内には市有地・民有地をあわせて28箇所のスポーツ広場がある。今後のスポーツ広場の施設整備及び管理運営方針を決定し、誰もが利用することができる「公のスポーツ施設」への転換を図る。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;                  ・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。                  ・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。                  ・民間活力による（PFⅠ等）手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。                  ・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ広場	
	連携先		対象者	スポーツ広場利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事

## 施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

### (3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-18				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	利用種目の見直し				
取り組みの概要	<p>&lt;目的・狙い&gt; 市のスポーツ施設を専用利用する場合、施設案内予約システムを使って予約を行う。各施設にはそれぞれ利用可能種目が設定されており、利用可能種目にならない種目では利用することができない。近年、設定されている利用可能種目以外の種目で利用したいという要望が多数寄せられており、対応を検討する必要がある。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt; 寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 市民協働推進課 市民総務課 指定管理者	対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	利用種目の見直しの実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			→	実施